

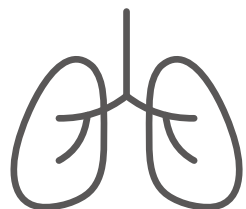
1 →
インフルエンザなんて
怖くない
Not Scary

意外な合併症をご存じですか？

肺炎・細菌感染

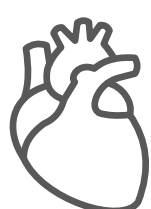
ウイルスで粘膜が傷つくと、細菌感染が起こりやすくなります。

糖尿病をお持ちの人や
高齢者は、重症肺炎に
進行する危険性が
あります。



心血管疾患の発症・悪化

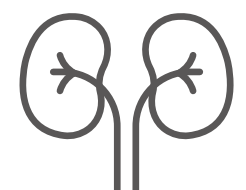
感染による炎症などで、血栓ができやすい状態になります。その結果、心筋梗塞・狭心症・脳梗塞などを発症するリスクが一次的に数倍に跳ね上がることが分かっています。



腎機能への影響

発熱・脱水などにより腎血流が低下し、一過性に腎機能が悪化することがあります。

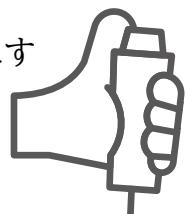
高血圧や高尿酸血症をお持ちの人は、
インフルエンザ感染が慢性腎臓病進行の
引き金となることも
あります。



血糖コントロールの乱れ

感染に伴うストレスホルモンの上昇により、インスリンの働きが抑えられ、血糖値が急上昇することがあります。

糖尿病をお持ちの人は、
重篤な代謝異常を引き起こす
恐れがあります。



治療は48時間以内がポイントです

薬物療法

ウイルスが体内で増えるのを防ぎます。



【特に注意が必要な人】

- 高齢者
- 乳幼児
- 呼吸器系の病気・心臓や腎臓の病気がある人
- 糖尿病などの代謝性の病気がある人
- ステロイド内服などによる免疫機能が低下している人

知っておきたい \ポイント/

受診の目安は？



発熱後12～48時間以内

1 →
インフルエンザなんて
怖くない
Not Scary

インフルエンザは侮れない

インフルエンザの感染力は強く、侮れない病気です。
体内で増えるスピードが速く、ウイルスが粘膜から付着して細胞内に侵入するまでおよそ **10分**、8時間後には**100倍**、24時間後には**100万倍**になり、感染が拡大します。

たった一人のくしゃみや咳、接触などからすさまじいスピードで増殖するため、毎年流行しています。

自分の感染が人に影響を及ぼす可能性があります。



これは「普通の風邪」？

インフルエンザは、一般的に高熱になりやすいため、悪寒などが強く、症状は

普通の風邪よりも強く現れる
ことが多いです。



知っておきたい \ポイント/

周りに感染する期間は？



症状の出る1日前から
発病後5～7日以内

インフルエンザは10人に1人がかかると言われています。

「私は大丈夫」は本当ですか？